

令和3年1月定例高森町教育委員会 会議録

日 時 令和3年1月19日（火） 午後4時00分～午後5時00分
場 所 役場大会議室
席 者 教育長 帯刀昇
教育長職務代理者 湯澤正農夫
教育委員 鈴木ちほ 熊谷昌治
事務局 福島事務局長・清水局長補佐・松島こども支援係長・高野公民館長・
寺沢社会教育係長・久保田文化財保護係長・木村給食センター長

1. 開会

2. あいさつ（帯刀教育長）

3. 協議・報告事項

(1) 飯伊市町村連絡協議会からの報告・・・（別紙参照）

- ・非違行為根絶について
講師の先生は研修の機会が少ないと言っている
講習を受ける機会を確保しなくてはいけない
- ・交通違反
加害者になることが多い。
路面の凍結等にも注意してほしい
- ・USBメモリー紛失について
持ち出すときには校長の許可があるにも関わらずそれを怠り、パスワードもかけていなかった。
- ・危機管理について
新型コロナウイルス拡大、ノロウイルス、インフルエンザ流行に注意する。
積雪による事故に注意する
- ・来年度より学級編制を5年かけて2年生から6年生まで35人編成にしていく

(2) 新型コロナウイルスについて・・・（別紙参照）

本人やご家族にかぜ症状がある場合に、無理して登校しないように家で様子を見てもらう。こちらから強制的に休ませるということではなく、保護者の方から相談があるような対応をしていく。

感染者が出た場合や濃厚接触者が出た場合は、学校がどのような対応をとるかフローチャートにしてある。感染者が出た場合は、学校の消毒、濃厚接触者の特定をする。全体又は一部で、休校処置をとる。

（熊谷委員）

高校で感染者が出て、娘がPCRの対象になった。小学生の息子は学校を休ませた。担任の先生に連絡をした。家族が濃厚接触者、この濃厚と言わずに接触者といわれた。濃厚でない接触者にも入れたほうがいいのではないか。

（事務局）

検査は保健所からの指示か、学校からの指示でしたのか。

（熊谷委員）

学校が保健所から指示されて、学校から連絡があった。結果も学校に伝わって、学校から保健所へ連絡がいった。連絡があったのが、日曜日で実際出ていたのは前の週だったので、とても心配をした。情

報は早く欲しい。学校は休校になったが、前の週から分かっていたので、一斉に休校したほうが特定されずいいのではないかと。連絡が無く、クラスの人が 11 人休んだ。ある程度情報を早めにだしてもらった方がよかった。

(事務局)

休校は何日間か

(熊谷委員)

月曜日から休校し、再開は未定

(湯澤委員)

かぜの方に休んだ方がいいとしたときに、欠席扱いになるのか

(事務局)

欠席扱いにはならず、出席停止になる。高森町でも 1 週間で 4 名の感染者がでていいる。人口比は高く、状況としては良くない。社会体育施設はマスクの着用が徹底出来ない為禁止した。学校や保育園は通常通りだが、学校にはマスクを外しての体育はしないと伝えてある。2 月 7 日までとしている。

(3) 令和 3 年度予算編成について・・・(別紙参照)

昨年度と向かっていく方向性は変わっていない。キャリア教育の充実、ICT 教育の活用、図書館の活用、コミュニティスクールの充実に加えて、地域学習を充実させたいと考えている。地域人サポートティーチャーの配置として、中学校の各学年に役場職員を 1 人ずつ配置し一緒に総合の授業を行う。みらい議会やみらい懇談会での話を受けて来年度どうしていくか。地域学習をした結果として、みらい懇談会やみらい議会で発表し次年度につなげる。

柿の里ひろばは、町民の方や転入された方もまだまだ地域の事を知らないのではないかと。大人の方にも機会を作った方がいい。

スポーツについては、熊谷委員にお願いしてパラリンピックのお話や体験をして、いろんなことを知れる機会を作りたい。また、国体のカヌーの関係もあり、羽根田選手を呼べるかどうか考えている。

学校授業改善の推進で、指導主事という形で学校の校長先生たちと話をしてきたが適任の人がいらっしやらなかった。学校が基本でやっていくことだが、教育委員会としてもなにか一緒に考えてやっていけないか教育長のほうで考えてもらっている。教育長の作成した資料を見て頂き意見をもらいたい。

(教育長)

南小学校の 1 年生を 3 組から 4 組に変更する。なかなか教員が見つからず苦労している。新しい指導要領では、何をしているかの知識理解以上に、知っていること、出来る事をどのように使うかの方が重視されている。どのような学びが社会に生かそうとする力や学びに向かう力が重視されている、そうした知識や能力を伸ばすためには、新学習指導要領に言われている深い学びが求められている。

子供たちがなんで勉強するのか学習の良さや意味を理解しながら、主体的な学習の授業づくりが課題になっている。

(熊谷委員)

授業参観をしたときに、先生の誘導がうまい。生徒を楽しませながら授業していた。発言をしていた。授業の改善応援隊に若い先生、年齢の近い先生がアドバイスできるような先生たちの話せる場があった方がいい。

(湯澤委員)

今の指導要領とあっていない。土台に基礎学力がないとできないのではなく、基礎的・基本的学力が蓄積されている。それがなければ出来ないことを知り、自分で学力をつけていく。主体的学びを深くすることで、基礎的学力を付けていく。地域との豊かな学級を子どもたちが感じて、自分たちの学級に作

っていく。プロセスはあまり考えないほうがいい。わかる授業がすべてではない。わからないということがわかる授業も素晴らしい。できないということがわかるから、出来るように努力する。挑戦することで、一緒についていく。やろうとしていることはいいことだが、教頭先生は忙しくてできない。無理だと思っている人がいると、伝わっていかない。すばらしい先生を引っ張り出した方がいい。校長先生がいて、インフォメーション役になってもらった方がいい。中学は、効果がない。生徒が評価するということは、感想をいうだけ。子どもたちは先生たちを評価することは難しい。先生がやる気をなくしてしまっはいけない。あまりしない方がいいのではないか。

(鈴木委員)

1人1公開の形ではなく、学校全体が活性化していく。見たい授業を見れる体制が必要。漠然といやな授業をなぜしなくてはいけないのかと思う人もいる。具体的な目標を1人1人、子どもたちが目標をもてるようにする。どういう風にこれから生かしていくかがわかる授業だといい。

(4) 係からの報告

◆学校教育係の報告

みらい懇談会が行われるので、ぜひ見に来てほしい。

◆こども支援係

・新園舎建築の新着状況について

新みつば保育園

民営化の募集を行う。施設候補地については2箇所の中から、内容など適地を指定してもらう。

1月10日に行われた説明会では112社から4社の出席があった。書類審査を2月上旬に行い、2月18日に法人からプレゼンをしもらう。

新吉田河原保育園

造成工事の入札を1月22日に吉田区民会館にて行う。3月には契約をする。補助金は新年度予算で対応し、6月から建物の建設に着工する予定。2月のお知らせ版で保育士の募集をかける。

◆社会教育係

・令和2年度成人式について

令和2年12月27日に管内で感染者が出たため延期した。開催は令和3年10月31日(日)を予定している。町からは着物のレンタルなどのキャンセル料の補助を検討している。アンケート調査を行い、7万から8万程度のキャンセル料がかかる。2月末までに審査を行い、補助金を支払う。上限は8万円にする。

(湯澤職務代理)

補助金の予算措置はどうなっているのか。

(事務局)

本日の臨時議会で歳出が通った。交付税の対象になるかどうかは、現在調べ中です。新型コロナウイルスの3次補正で該当するのではないか。対象者は20名程度で見ている。10月31日に延期としたので、今はキャンセルにならない方がいらっしゃる。キャンセル料の領収書をとっておいて、提出してもらう

(5) その他

年間計画について

4. その他

5. 日程等

6. 閉会

【次回教育委員会】

2月16日（火）

定例教育委員会

午後4時～